

# 新エネルギー・省エネルギーの推進

## ～ 除雪した雪を利用した空港内施設における冷熱供給システム構築 (新千歳空港クールプロジェクト) ～

○融雪剤の生分解が促進される夏季まで雪山として貯蔵し、雪氷から発生する冷熱を空港ターミナルビルの冷房に利用します。  
その結果、自然環境への負荷低減とCO<sub>2</sub>排出量の抑制に寄与します。

### ・ 背景・取組のポイント

新千歳空港では滑走路・エプロンや航空機への除雪・除氷・防水作業が必要不可欠であるが、その作業で使用する融雪剤の影響で周辺の湖沼等の自然環境への負荷となるおそれがある。そこで、融雪剤を含む雪氷を雪山として夏季まで貯蔵し、BODの低減を図るとともに、雪氷を空港ターミナルビルの冷房に利用し、CO<sub>2</sub>排出量の削減を図ります。

### ・ H21実施内容 雪山ピットの整備

### ・ H21の目標 雪山ピットの整備完了



**課題** 融雪剤に含まれる有機物が、自然環境への負荷となるおそれがある

### クールプロジェクト

雪山造成により、融雪剤の貯蔵と雪氷の冷房利用

#### ①融雪剤を含む雪氷を雪山として貯蔵



調整池に流れ込む流量を減らすことによるBODの更なる低減

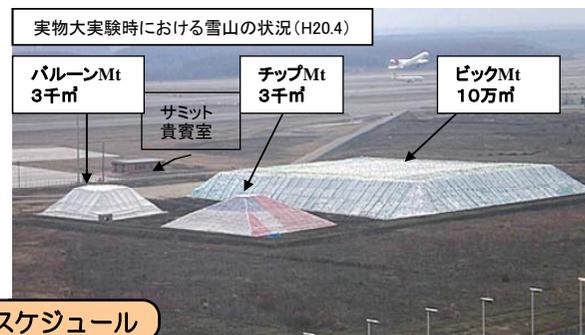
#### ②雪氷をターミナルビルの冷房に利用



CO<sub>2</sub>排出量を削減し地球温暖化防止に寄与



★雪を利用することによりBOD低減とCO<sub>2</sub>削減を同時に達成



### スケジュール

平成19年度 遮熱シートの実験、BOD低減効果の確認  
平成20年度 実物大実験、設計  
平成21年度 雪山ピットの整備